

令和2年度研究会活動アンケート結果（トレーナー）

1 日程について

(1) 開催曜日について

- ・開催日時時間については良いが多かった。（上尾かしの木）
- ・よい。（6）
- ・適当。

(2) 時間について

- ・開催日時時間については良いが多かった。（上尾かしの木）
- ・よい。（6）
- ・適当。研修と訓練会に分けて実施しているので、どちらも時間的余裕を持って参加することができると思います。

2 動作法研修会について

(1) 動作法研修会への参加について

- ・1回参加した。（3）
- ・2回参加した。
- ・3回参加した。
- ・5回くらい参加した。
- ・10回参加した。
- ・動作法研修会には平均して2～5回程度の参加。（上尾かしの木）

(2) 時間帯、会場、参加費等について

- ・時間帯、会場、参加費内容については良い。
- ・車がないと行くのが大変だったが、毎回同じ職場の仲間の車に乗せてもらっていたので参加できた。
- ・よい。（5）
- ・適当。
- ・特になし。

(3) 研修内容について

- ・事例を扱う研修の難しいところですが、どこまで情報を共有できるのか、プライバシー対策は大丈夫かという疑問が生じてしまいます。また、情報優先になってしまう面もあるので、トレーナーがトレーニーをもっと経験できた方がいいのかなとも思いました。
- ・話を聞くだけでなく、実際に相手に触れてもらい、トレーニーと同じようなことを感じられたのが良かった。
- ・前半に星野先生から概論的な話を伺い、後半に演習に取り組むというスタイルが良かったです。あらかじめテーマが設定されていたのも、参加するうえで見通しを持つことができありがたかったです。
- ・事例を挙げて実践することができたことが、分かりやすく良かったです。
- ・参加者の現状（動作法の経験の浅い先生方の参加が中心）を考えると、動作法について深めるといよりも、動作法の基本はおさえながらも実際の指導に役立つようなものを研修内容とした方がよいと考える。SVの星野先生や島村先生の話を受けて、経験のある参加者が経験の浅い参加者につてるといいう形が現状ではベターかなと思う。

- 日々の指導で困っている点について、皆で意見を出し、それにつながる手技の確認ができてよかった。
- 初めて参加した研修会は内容が難しかったですが、勉強になりました。
- 歴史などの話で、少し内容が難しかった。

3 月例会について

(1) 内容

- トレーナーの時は大体4~5人のトレーニーをいつも見ることが多く、もう何年も関わっていないトレーニーがいて不安もあるし、ミーティングでの話に実感が持てないこともある。
- 動作法を熟知している先生がいらっしゃる中での実践なので、その場でどうすると良いかアドバイスを頂けるので良かった。
- トレーニーの実態等をあまり把握できずに指導するのは不安がとても大きいですが、指導方法や関わり方を知り得ることができるのでとても貴重な時間になっています。
- 実際に実技の講習もしていただけるので、実際に自分の体で緩み等を感じることができてわかりやすかった。
- 研修会で学んだことを生かして、定着する機会となって良かったです。
- 参加者がぎりぎりのこともあったが、どうにか班編成を組むことができ月例会を実施することができてよかった。
- これまでは、保護者の要望もあり、トレーナーの参加者が多い場合にはトレーニーの参加を前後半続けられるようにするなどの対応をしてきたが、コロナ対策の一環として時間的配慮から前半か後半だけの参加とするなどの対応を今後は検討してもいいのではないかと思う。
- いつも緊張するが勉強になった。
- 昨年度は参加することができませんでした。
- 特になし。

4 研究会の運営について

(1) 役員

- よい。
- 適当。(2)
- 特になし。(4)

(2) 年間計画

- 年間の計画の中で夏のキャンプは8月だとありがたいです。
- 毎回スーパーバイザーが違うので、新しい視点が持ててとてもよい。
- よい。
- 適当。(2)
- 特になし。

(3) HPについて

- HPについては知りたい情報を得られることもあったが、得られないこともあった。
- いつもお忙しい中HPを更新してくださりありがとうございます。
- トップページ>研修会案内>〇〇〇=ここで直近のもの概要日時が見られるといいかもかもしれません。ここからさらにPDF等を開かなければいけないので。研修会の種類を知らない人は案内PDFにたどりつけないと思います。

- 新着情報がトップページに入っすぐ見られるようになると思います。HPの中に月例会の簡単な報告があると、どのような活動をしているのかが外部の方にも伝わりやすいのではないかと思います。
- 内容の年間計画のようなものがあるとよいかもしれない。

5 心理リハビリテーションの会全国大会について（埼玉大会）について

(2) お手伝いだけそんなこと

- 簡単な事務手続き（発送等）、当日の受付・案内等。
- 全国大会を開催するにあたって手伝えることは何でもやります。
- 日程等ができれば可能な限りお手伝いできればと思います。
- 全国大会に参加したことがなく、具体的にどのような手伝いが必要なのかのイメージが持てないです。例会の時にでも教えていただくとありがたいです。
- 分かりませんが手伝えることがあればお手伝いさせていただきます。
- 島村先生に全てをお任せしてしまっているような現状で、事務局としてもできることは協力というか実行していかなくてはならないと感じています。ただ、何をどうすればよいかの見通しが持ていないので、島村先生から伝えていただければ事務局で役割分担して全国大会に向けて準備していこうと思います。

6 県内以外の心理リハビリテーション活動等の参加について

(1) 関東甲信心理リハまたは全国大会への参加

- 1回～2回（上尾かしの木）

大阪に参加。全国各地のスーパーバイザー、トレーナー、トレーニー、親の方々に再会できて嬉しかった。いろいろな方の話を聞くことができ有意義な大会だった。

東京に参加。普段聞くことのできないトレーニーの話を聞くことができよかった。また同じ教員の立場からの意見や保護者の立場等色々な視点からの話を聞くことができ産駒になりました。

- 1回 山形大会
- 1回 埼玉大会
- 6回 山梨大会、長野大会、栃木大会、東京大会、埼玉大会（2回）
- ない（4）

(2) 県外へのキャンプまたは動作法研修会への参加

- 8回 カンボジア、やすらぎ、千葉なのはな、静岡、愛知（2回）、
- 6回 京都キャンプ、長野キャンプ、やすらぎ荘（3泊4日）
- 1回 長野に参加した。1週間じっくりとトレーニーと関わることで、変化に気が付くことができた。また改めて動作法について学ぶことができてよかった。動作法だけでなく、集団療法や保護者との関わりについても学ぶことができた。また普段関わることのできない方たちの話も聞くことができすごく参考になった。
- ない（6）

7 今後について

- スーパーバイザーはもちろんですが、経験あるトレーナーが順番に講義や実技をする企画はどうでしょうか。教える立場で内容を考え、実際に人に教えるとしても勉強になるので。「教える」というより「一緒に学びましょう」というスタンスで。

- テーマに沿っての毎月の研修はぜひ続けていってほしいです。
- 特にありません。

8 新型コロナウイルス感染予防対策について

- 動作法そのものが感染症に弱い側面があるため、今後は何らかの対処が必要かと思えます。
 - 「かぜ」症状の見られるトレーナー・トレーニーが多いのが気になります。集中研や冬場の月例会の後にだいたい風邪をひいてしまうので、参加がためらわれる時期もあります。
 - HPVに対して現在ノーガードなので、もらい放題なのも辛いところです。保湿、手指保護も必要だと思います。
- 会場係としては、会場使用許可が下りるのかが気になります。
- トレーナーがフェイスシールドを着用するようにすれば、感染リスクは抑えられるのではないかと思いました。どうやって入手するかという問題はありますが。
- 会場校の宮代特支からの参加者が2名しかいないことを懸念しています。「宮代特支からの参加者がいない場合は蓮田特支をかいじょうにする」と事業計画にありますが、トレーニーの特性等を考えると、頻繁に会場を変更しない方がいいと思います。会員の皆さんにも、以前一緒に働いたことのある現宮代特支の教職員にお声かけいただけるとありがたいです（こちらとしても、引き続き声かけはしていくつもりです）。
- 空間的配慮（会場を複数にする、一部屋の人数を少なくする等）、時間的配慮（トレーニーの参加は前半か後半のどちらか、研修時間、訓練時間の短縮等）、衛生的配慮（マスク着用、手指消毒の徹底、可能な限りのマンツーマン体制等）をした上で身体を通したかわりは大切にしながら実施していきたい。